

日本テコンドー協会（J T A）

J T A 試合法一組手 全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会 年齢および体重制限

2015年3月20日通達

2020年1月12日一部改定

全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会（以下、全日本大会）の一般男・女組手の部における死亡事故および後遺障害事故が起きる確率を、より一層低くし、安全性を高めるため、参加資格に年齢制限と体重制限を定め、5年が経過した。

2020年1月理事会決議に基づき次の通り年齢制限の上限の例外を定めるものとする。

記

第1条 全日本大会一般男女組手における年齢制限の上限

- 1、全日本大会に選抜出場・推薦出場できる年齢の上限は、申請書提出時点で39歳とする。
- 2、全日本大会予選会に参加できる年齢の上限も、申請書提出時点で39歳とする。
- 3、男子選手の例外
 - 1) 40歳前後の選手が、全日本大会 男子A級組手無差別級において優勝した場合、全日本大会及び予選会への持続的な参加を認める。
 - 2) 40歳前後の選手が、全日本大会 男子A級組手無差別級において1回戦を勝利した場合、次の全日本大会予選会への参加を認める。
- 4、上記の年齢制限の上限を定めた第1条1及び2は、2015年12月より実施する。
例外を定めた第1条3は2020年3月より実施する。

<旧法第1条3 上記の年齢制限の上限は、2015年12月より実施する。例外は一切認めない。>

第2条 全日本大会一般男女組手における年齢制限の下限

- 1、全日本大会に選抜出場・推薦出場できる年齢の下限は、開催日時点で18歳とする。
- 2、全日本大会予選会に参加できる年齢の上限も、開催日時点で18歳とする。
- 3、次の要件を満たしている場合、全日本大会および同予選会への参加を認める場合がある。
 - ①開催日時点で16歳以上
 - ②一般選手と同等の実力があると指導者が認めている場合
 - ③当該、18歳未満の選手が、全日本大会または同予選会に参加した結果、死亡事故や後遺障害等の当事者となっても、大会主催者および対戦選手に対して民事上の責任を問わないという同意書を法律上の保護者（通常は父母）が大会主催者に提出している場合
- 4、上記の年齢制限の下限は、2015年4月より実施する。

第3条 全日本大会一般男女組手における体重の上限

- 1、全日本大会一般男子組手の体重上限
 - ①全日本大会当日の計量において90kg以内でなければならない。
 - ②上記の計量は、黒帯道衣を着用し、黒帯をしめた状態で実施されなければならない。
 - ③上記の計量は、1回のみとする。

2、全日本大会一般女子組手の体重上限

- ①全日本大会当日の計量において70kg以内でなければならない。
- ②上記の計量は、黒帯道衣を着用し、黒帯をしめた状態で実施されなければならない。
- ③上記の計量は、1回のみとする。

3、上記の体重上限は、2015年4月より実施する。

第4条 全日本大会一般男女組手における体重の下限

1、全日本大会一般男子組手の体重下限

- ①全日本大会当日の計量において男子は60kg以上でなければならない。
- ②上記の計量は、黒帯道衣を着用し、黒帯をしめた状態で行うことを妨げない。
- ③上記の計量は、1回のみとする。

2、全日本大会一般女子組手の体重下限

- ①全日本大会当日の計量において45kg以上でなければならない。
- ②上記の計量は、黒帯道衣を着用し、黒帯をしめた状態で行うことを妨げない。
- ③上記の計量は、1回のみとする。

3、上記の体重下限は、2015年10月より実施する。